

次期森林環境税使途事業（時点案）

赤字：新規・拡充

事業名			新規・継続	所管	事業概要	見直しのポイント
自然との共生をめざして	森林との多様な交流の推進	里山林機能回復整備事業	継続	森林整備課	NPOやボランティア等の協力のもと、地域住民が身近に接することのできる里山林の機能や景観を回復し、利活用の促進や生活環境の改善を図る。 ・広葉樹、竹林の整備 ・ 竹林の皆伐(侵入竹以外) ・ 集落または農地に隣接する森林の伐採(緩衝帯造成) ・ NPO等に対する機材整備等(替刃等)の助成 ・ 学習会の開催 ・ 事業実施効果の追跡調査 等	実績に基づく見直し （事業実施主体からの要望等） 行政需要に基づく見直し
		(仮称)森林とのふれあいを促進する事業	新規	森林整備課 他	森林を立入利用や眺望利用等を目的に活用するために必要となる整備を実施。 ・ 広葉樹植栽 ・ 散策路・休憩施設等の施設整備 ・ 森林景観や植生等に悪影響を及ぼしている野生動物による食害等の防除(食害防護施設の設置等) ・ 事業の実施効果の追跡調査	行政需要に基づく見直し アンケートに基づく見直し(取り組みの認知度向上のため)
		(仮称)公共施設で木製品とふれあう事業	新規	林政課	県内公共施設等に間伐材(森林環境保全緊急間伐事業による伐採木を含む)を使用したベンチやテーブル、イス等の設置。	アンケートに基づく見直し(取り組みの認知度向上のため)
	森林環境教育等の推進	森林環境教育推進事業(農林部)	継続	林政課	青少年をはじめ一般県民に対する環境保全意識の啓発等幅広く森林環境教育を推進。 ・指導者の養成 ・森の学校の開催、体験学習支援 ・指導者・フィールドの登録、紹介・斡旋 ・道具資材の配置 ・副読本等の配付 ・県産材を使用した学習機を導入に対する助成。	
		森林環境教育推進事業(教育委員会)	継続	学校教育課 他	小中高等学校生に対し、森林環境を大切にする気持ちを持った人材の育成を図る。 「森林の働き」「森林の現状・課題」「森林を守るための対策」を学習する。 ・里山や森林関係施設等での体験学習 ・間伐材を利用したログハウスの製造等 森林体験学習のあり方についての実践的な研究 ・ 森林体験学習のあり方の実践的な研究(毎年度全小学校を対象) ・ 数校を指定し宿泊で集中的に森林環境体験学習を実施	毎年度全小学校での森林環境教育の実施 ←現行は5年間で全小学校で実施(現場からの要望) 宿泊学習の実施により効果の向上を目指す(現場からの要望)
森林の多面的な機能発揮をめざして	森林の普及啓発のため	奈良の元気な森林づくり推進事業	継続	森林整備課	放置人工林を調査し、その森林所有者に対して、森林整備に活用できる各種制度の紹介や森林の有する多様な公益的機能を普及啓発し、放置人工林の解消を図る。 ＜森林環境保全緊急間伐事業を実施する場合必須＞	
	森林の公的関与のため	森林環境保全緊急間伐事業	継続	森林整備課	放置された人工林で強度な間伐を行うことにより、森林の荒廃を防ぎ、公益的機能の維持増進を図る。 【対象エリア】 ・自然歩道のバッファゾーン ・自然公園区域内 ・ 土砂流出防止、土砂崩壊防止、水源かん養機能の増進が必要な区域 等 【事業メニュー】 ・本数率40%の間伐 ・ 本数間伐率50%または60%の間伐 ・ 事業実施効果の追跡調査	【対象エリア】 アンケートに基づく見直し （取り組みの認知度の向上のため） 【事業メニュー】 実績に基づく見直し （現況に応じた施業方法の選択制）